

平成20年度 決算を認定

平成20年度各会計及び企業会計決算審査意見書

幌延町には一般会計の他7つの特別会計と町立病院事業会計があります。

～一般会計・特別会計審査意見書～

各会計決算書並びに付属書類は適法に作成されており、議決内容に則し適正に執行されている。

本町の財政状況は、早期健全化基準及び財政再生基準について4指標全て判断比率を下回っており、財政状況は健全であると認める。

歳入では、町税・使用料・国保税・介護保険料・後期高齢者保険料・水道使用料・下水道使用料について、滞納繰越額が一部に前年を下回ったものもあるが、横ばいまたは増加傾向にあるので、幌延町税等収納対策推進本部の機能を十分活用し、各課所属部所の連携をとり今後一層滞納額の減少に努力していただきたい。

また、今まで以上に各課において予算管理の徹底と内部牽制の強化に努め、今後とも財政健全化に配慮されたい。

～町立病院事業会計審査意見書～

町立病院会計事業は、平成20年度に改定された診療

報酬等により入院収入は前年度対比1千1百86万6千円の減少、外来収入は1千37万6千円の減少となっており、一方経費では前年度対比6百19万6千円の減少となっており、経常経費節減に努力が伺われる。

本会計の収支バランスは保たれているが、これは一般会計からの繰入金2億4千9百6万5千円によるもので、前年度対比1千6百46万円の増額となっている。

今後も国の医療制度改正が進むと予想されるが、住民に信頼されてきた町立病院は、平成23年度から診療態形が病院から診療所に変更になる。本町は今後も少子高齢化が進むと見込まれることから、地域住民に対する医療サービスが低下することがないよう十分配慮していただきたい。

監査委員



寺田 國春



佐々木忠光



北星園改築事業

決算に関する質疑

問 建設工事の落札率について

答 競争の原理から妥当な見積もりで執行している。

問 町民の暮らしの安全を守る消防団員数は万全か。

答 定足数75名に対し現在64名で補充に努めている。

問 スポーツ振興の中で指導者の育成は万全か。

答 指導者等の養成については予算内で助成している。

問 町の財産に関する事で

答 国債等の所有状況について常時状況を把握し、国

債等に対し安全確実に資金運用を図っている。

問 町税、使用料の滞納繰越の収納対策について。
答 分納方式で徴収の実を上げていく。

問 20年度のガン検診の受診率はどうかだったか。

答 特定検診が始まったが対象者が国保の加入者という事で受診率は下がった。

問 20年度決算審査にあたり監査委員の所見は。

答 町の財政については健全状況にあるが今後は限られた予算を有効に執行すべきと考える。



花公園整備事業